

有明町教育委員会埋蔵
文化財調査報告書第8号

松尾，山之内線農道改良工事に伴う調査概報

昭和62年11月20日

有明町教育委員会

1. 調査の概要

現有農道を若干拡幅して東側に濶溝を布設、下部に拡がる水田に流水の害を防止するために既設の農道に改良を加えるものであるが周知の遺跡地に立地するため(註1)、工事の着工前に調査を実施したものである。

工事地の起点は松尾遺跡であり(註2)、(国道251号線)特に埋葬と貝の信仰について(註3)注意を要すべき個所であった。

2. 出土遺構

第5、6トレンチに出土した住居跡入口部に、多分流産死、或いは死産児の遺体を埋葬したものとみられる(註4)深鉢形土器が発見されたが当地は牛蒡の特産地であるため、トレンチャー(発掘機)の使用が早く、(深さ1.20~1.30メートルまで発掘する)地下の遺構はほとんど破戒され、ここでもその例外でなく、概要として上記の事情を思考される程度のものであった。

補足

上記の調査結果

包括し記入する

註 1 . 2 .

昭和 59 年、長崎県文化課作製有明町遺跡地図 20 番の地。『有明町松尾遺跡緊急調査概要』長崎県教委、有明町教委、1978 年 9 月 28 日。

註 3 .

古田『貝の埋葬供獻について』島原風土記第 3 号
昭和 61 年 3 月 20 日。

註 4 .

古田『吾妻町の埋葬儀礼』吾妻町史、吾妻町刊
昭和 58 年 11 月 1 日。

古田『筏遺跡—縄文後、晩期埋葬遺跡—』1974 年 1 月、古田
『北阿、金比羅遺跡調査報告』南有馬町教育委員会刊、1981 年
渡辺誠『縄文時代における埋葬考』信農 20-4、昭和 43 年。
木下忠『戸口に胎盤を埋める呪術』考古学ジャーナル 42
1940 年。

補足

上記有明町遺跡地図中、20、21 の両遺跡は一遺跡として
包括し拡大する必要がある。

図 板

132, 138, 133, 143 : 弥生土器

126は拍土、焼成、焼成色は弥生土器と異なるところはないが文様の施されている点で不理解な点がある。(『南方古代文化と芸術』川路柳虹, 土橋醇一、昭和19年12月20日参照)

5, 6, 15 : 土錘。

11, 23, 8, 122, 121-2, 116, 125は土師式土器、特に122土器は人骨片、巻貝片と共に出土。

106, 107, 138 : 須恵器片。

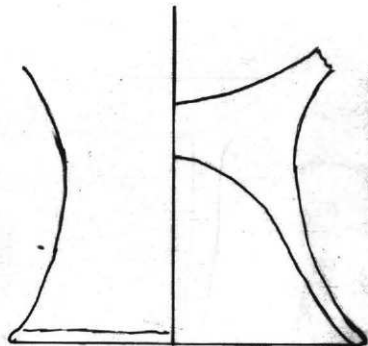
110, 121, 122, 124, : 陶器

128 : 磁器

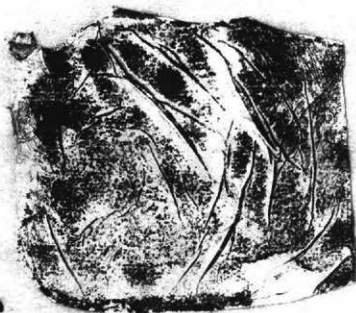
115 : 青銅管状具。

3, 1, 2, 4, 121, 113, 118, 139, 120

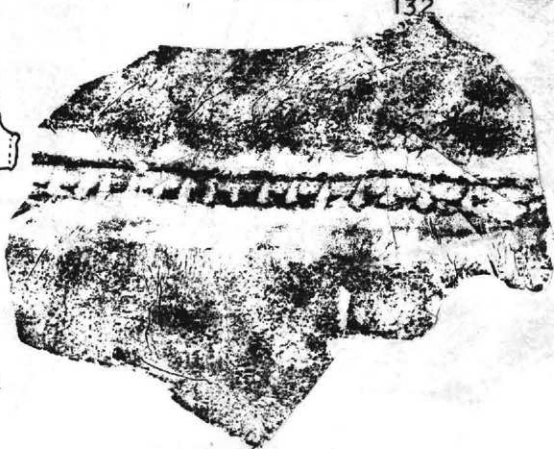
144は鉄具片。

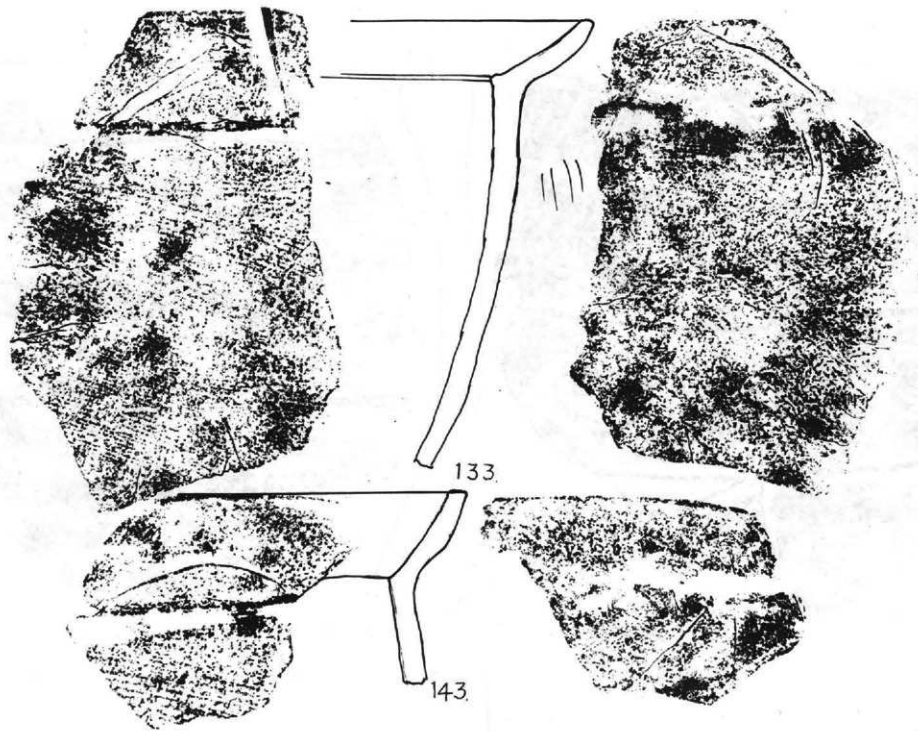


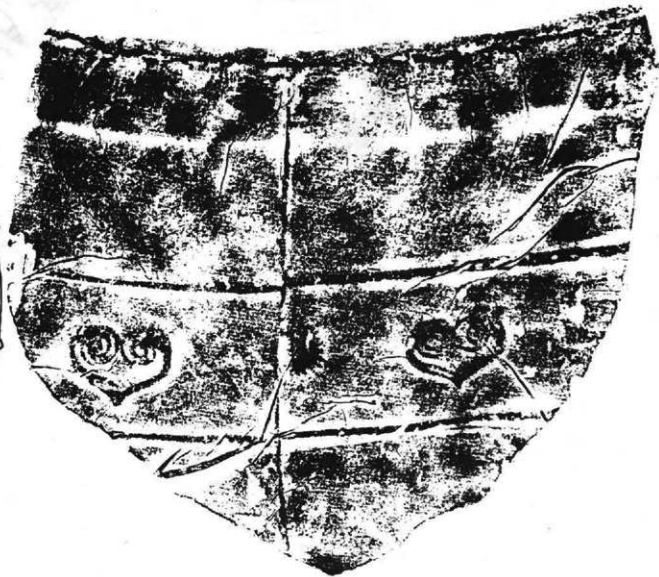
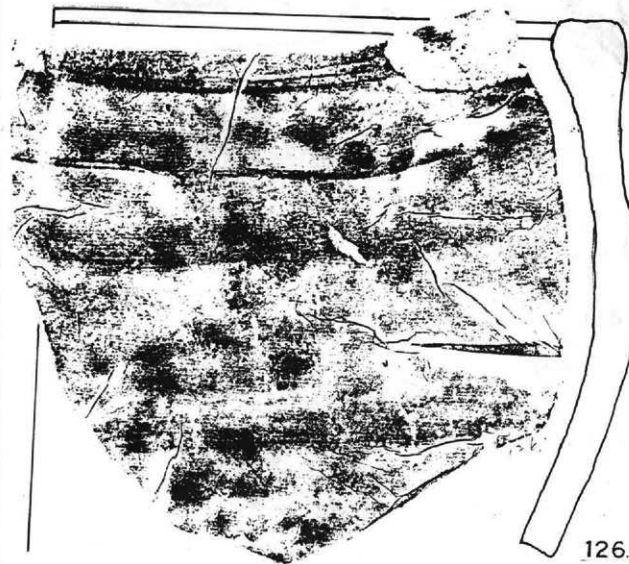
132



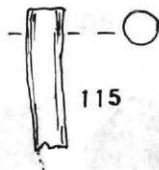
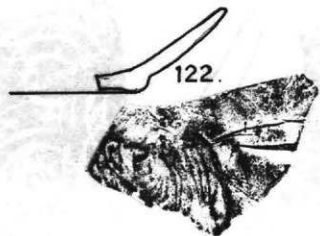
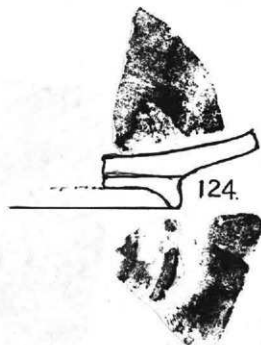
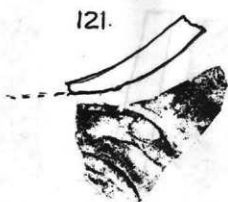
138

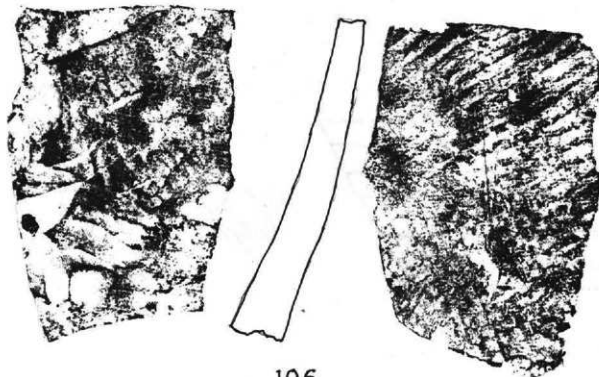






126.





106.



107.



138.





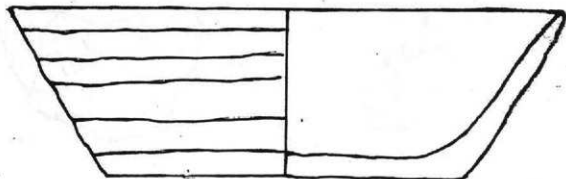
5.



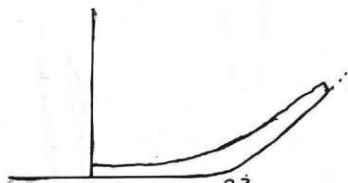
6.



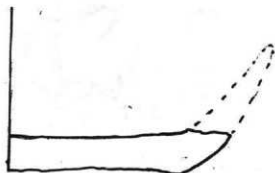
15.



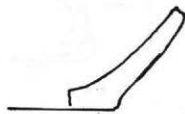
11.



23.



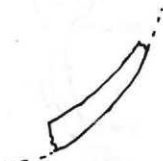
8.



123.



121-2.



116.



125.

